

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 展覧会に向けた作品づくりや共同装飾づくりを通じて、表現の楽しさや他者の表現のよさに気付かせることができた。
- ・ 用具の使い方を丁寧に指導し、安全に作品づくりができた。
- ・ 鑑賞を通して、互いの作品のよさを伝え合い、次の活動への意欲を高められた。
- ・ 初めて使う用具の使い方を徹底指導したことで、技能が向上し、表現の幅が広がった。
- ・ 既習した知識を基に、表現方法を考え、試行錯誤する姿勢を育むことができた。

(2) 課題

- ・ 作品を見せ合い、よさや違いを知ることで、互いを認め合いながら自分の発想や表現に自信をもてるように活動を充実させる。
- ・ 造形的な見方・考え方を働かせて、表現や鑑賞に取り組むことを目指す。
- ・ 完成のイメージを深めることで、見通しをもって計画的な作品づくりができるようにする。
- ・ 材料や用具を活用し、学んだことを生かしながら課題のテーマに向き合って作品づくりができるようにする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ カッターやはさみ、のり、絵の具など、用具の基本的な使い方を知り、安全に用具を使えるようにする。	・ 失敗しても繰り返し試行錯誤できる環境を整える。また、友達同士で作品を見合う時間を十分に設け、形や色、工夫している点に興味をもたせる。	・ 身近な材料を用いながら、感覚や気持ちを生かして活動できる題材をとおして学習意欲を高める。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 絵の具、のこぎり、金づちなどの用具の使い方の指導を徹底し、適切に扱って表すこととおして技能や表現力の向上を目指す。	・ アートカードを使った鑑賞活動を取り入れ、身近にある作品のよさや面白さなどを味わい、自分の見方や考え方を広げさせる。	・ 生活で使えるものを創造する活動をとおして、材料や用具に対する関心や創作意欲を高める。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・造形的な見方・考え方を働かせられるように、形や色などの組合せに重点をおいて指導の充実を図る。	・ICT機器を活用した鑑賞活動を通じて、作品を見せることへの抵抗感を軽減し、友達との意見交換によって表現の多様性を受け入れる心を育む。	・活動のめあてと学習過程を明記したワークシートや振り返りシートを使うことで、目標を決め、見通しをもって取り組む姿勢を身に付けさせる。